

導尿のケアを要する幼児(3歳児)の日常生活における配慮

施設名	A こども園(私立)					
対象クラス	0歳児	1歳児	2歳児	<input checked="" type="checkbox"/> 3歳児	4歳児	5歳児
対象クラスの子どもの人数	22名		対象クラスの保育者の人数	3名		
基礎疾患名	脊髄脂肪腫					
医療的ケアの類別	喀痰吸引(口腔・鼻腔内)		喀痰吸引(気管カニューレ内部)		<input checked="" type="checkbox"/> 導尿	
	経管栄養(胃ろう・腸ろう)		経管栄養(経鼻)		インスリン注射	
	その他医行為( )					
看護師の配置	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	非常勤	訪問看護の利用	その他( )		
看護師による保育活動へのかかわり			<input type="checkbox"/> 無(医療的ケアの手技のみ)			
	有(保育補助(見守りも含む)としても参加)					

【受け入れの経緯】

入所年齢	2歳
入所のきっかけ (問い合わせ主体など)	受け入れ前に施設見学と面談 保護者様からの問い合わせ

【受け入れ可能性の検討】

- ・保護者の想いを聞き取り・・・仕事をしたいので保育園に預けたい。これまで何園かあったが、受け入れてもらえるところがなかった。
- ・母親に医療的ケアの内容、排泄について、行動制限の有無について確認をする。

【受け入れに際しての確認・調整・共有事項】

- ・園では12時に1回導尿を行ってほしい。今後回数が増えるかもしれない。
- ・便秘薬を飲むこともあり、今後自己排便が難しくなったら浣腸等のケアも必要になる。自己排尿・自己排便はあるが、感覚の有無についてはまだわからない。
- ・看護師不在の日は両親がきてくれる。
- ・慣らし保育期間中に母親から看護師にケアの流れ・実際の手技を引き継ぐ。
- ・運動機能は今のところ問題はなく、他児と同じように活動ができる。

【実際の医ケアの内容】

ケアの頻度	1日に1回(12:30頃)	実施者	<input checked="" type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 保育者 <input type="checkbox"/> その他
医療的ケア時の場所	保健室のベッド	準備物	防水シート、医療的ケア用品
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・午睡前にケアを行うため、保育活動への影響は特にならない。</li> <li>・プライバシー保護のため、カーテンを閉めてケアを行っている。</li> <li>・ケアを行う際は本児がケア用品の入った巾着を持ってきてくれる。ケアに対しての抵抗はない。</li> <li>・尿の色がいつもと違う、混濁があるなどの場合は母親に伝える。</li> </ul>	
			

【特に配慮を工夫した保育活動】

活動内容	援助者	保育者	看護師	その他
場所	準備物			
		<p>導尿を必要とする以外は通常の生活を送っている。運動機能的な面も含めて今のところ心配はなく、両親も他の子と同じように過ごすことを希望している。</p> <p>今後ケアや必要な配慮が増えたら、その都度対応していく。</p>		

【ケア会議（園内カンファレンス等）の実施と職員間の共有】

ケア会議参加者	
頻度	
共有の仕方	
<p>保育活動にはごく普通に参加できているため医療的ケア以外の配慮は特別行っていない。3か月に1度、泌尿器科にかかっており、診察結果はその都度母親より知らせていただいている。ケア会議は行っていないが、医療機関・家庭・保育園でそれぞれ必要な情報を伝達しながらサポートができています。</p>	